

徳之島世界遺産センターの概要



コンセプト「徳之島リビングミュージアム」

徳之島の世界遺産としての価値である生物多様性や雄大な自然の魅力を伝えながら、訪れる人々にとって居場所となるくつろぎの空間を目指した施設

施設規模

木造平屋建

延床面積 449.78 m²

アクセス

空港から車で12分、亀徳港から車で22分、定期バス運行

開館時間 9時—17時

利用者層

- ・ アクセスも良く、道の駅に併設されるため、世界自然遺産ファンに加え、一般の観光客や地域住民の利用を想定
- ・ 足洗い場やワークショップスペースも併設されるため、エコツアーの拠点や他機関や専門家などと連携したイベントなどにも対応

展示内容・空間



徳之島の自然と生きものの多様性を濃縮したジオラマ展示



徳之島の生きものを映像でよく見て魅力を体感してもらおう

「いのちのにぎわい箱庭」

徳之島の自然環境を6つにゾーニングし、それぞれの環境に生息・生育する動植物の営みを感じるジオラマ展示による環境再現。そこに展示される動植物の総数は約150種。

「いきものをよく見てみよう」

いきものを拡大してみることで普段見ることの出来ない生きものに関する発見が出来る映像コンテンツ。

「徳之島を旅してみよう」

徳之島の様々な地形環境を体験できる映像コンテンツで、360°映像などによりまるで実際に行ったかのように感じる事が出来る。



ソファでゆっくりしつつ展示と触れ合い、島についての理解を深める

「徳之島の海をひもとく」

徳之島の12の海環境をキューブ状の模型で紹介、海の豊かさも伝える展示。

「徳之島の多様な地質・岩石」

徳之島の多様な地質・岩石を実物展示により紹介。

その他、生きものの比較コンテンツ、どんぐりから学ぶ季節にちなんだ生きものの生態紹介、小さな生きものを顕微鏡で観察するコンテンツなど、多数の展示を用意。



眺望を背景に、徳之島らしい生きもののシンボリックな展示

展示室の開放的な窓際にはソファやキッズスペースが配置され、窓からは国立公園区域が見え、その奥には世界自然遺産地域が広がる。